



## レクリエーション基地として 整備を待つ六呂師高原

標高1,625メートルの雄峰「経ヶ岳」の麓（ふもと）に広がる六呂師高原。270ヘクタールに及ぶ広大な牧場をはじめ、スキー場やキャンプ場があり、当市の代表的

な観光地である。

昨年、環境庁からスターウォッチング「星空の街」の指定を受け天体観測施設等が設置される外、総合保養地域整備法（リゾート法）

の地域指定に向けての重点整備地区にもなっており、総合的なレクリエーション基地として整備される日も近い。（63年1月19日、市役所屋上から撮影）

# 第234回12月定例会

## 13議案を可決・同意

### 61年度歳入歳出決算認定は継続審査

第234回定例市議会は12月11日招集され、冒頭に山本武議員が先月11月18日死去された故高田新左衛門議員の追悼演説を行った後、会期を21日までの11日間と定め、理事者から提出の議案14件と市会案1件を審議しました。その結果「昭和62年度大野市一般会計補正予算案」監査委員の選任について」など13議案と市会案1件を可決・同意。「昭和61年度大野市歳入歳出決算認定について」は決算特別委員会を設置して、継続審査としました。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

## 審議日程

11日	本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
12日	休会
13日	休会
14日	本会議（一般質問）
15日	本会議（一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
15日	委員会（決算特別委員会）
16日	委員会（建設・産業経済）
17日	委員会（教育民生・総務）
18日	休会
19日	休会
20日	休会
21日	本会議（各委員長報告質疑・討論・採決、追加議案の上程）

議案番号	件名	結果
第六十号	昭和六十二年大野市一般会計補正予算（第四号）案	原案可決
第六十一号	昭和六十二年大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第三号）案	原案可決
第六十二号	昭和六十二年大野市老人保健特別会計補正予算（第二号）案	原案可決
第六十三号	昭和六十二年大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第四号）案	原案可決
第六十四号	昭和六十二年大野市南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第二号）案	原案可決
第六十五号	昭和六十二年大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第二号）案	原案可決
第六十六号	昭和六十二年大野市水道事業会計補正予算（第一号）案	原案可決
第六十七号	大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決
第六十八号	大野市立集会所設置条例の一部を改正する条例案	原案可決
第六十九号	大野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第七十号	大野市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第七十一号	大字・字区域の変更について	原案可決
第七十二号	昭和六十一年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査
第七十三号	監査委員の選任について	同意
市会案第七号	国保制度にかかる厚生省改革案に対する意見書	原案可決

## 議案等の審議結果

# 市政をきく 一般質問から



新有終会館構想が発表され、改築される現在の体育館

## 総合病院の誘致について

問 去る11月27日、大野市地域医療協議会が開かれ総合病院誘致について協議した結果、各委員とも総論では総合病院は必要であるとの意見であったと聞かすが、市長はどのように考えているのか。

答 この協議会には市区長連合会から提出された「総合病院の実現に関する請願書」を議題として審議を願った。

その結果、誘致については総論として賛成であるが、医療技術・医療機器・施設等の面から、当市の地域医療のレベルが向上するものでなければならぬということであった。

市民ができる限り市外の病院へ出向かなくても診療可能な、高度な総合病院の誘致を図らなければならないと思う。現在、県では医療計画を策定中であり、病院・病床等の過不足もはっきりしない段階であり、さらに、厚生省からの駆け込み規制があるなど、非常に

困難な状況下にある。

しかし、県当局に対しても積極的に働き掛ける一方、進出希望の病院等があれば地域医療協議会の意見を聞きながら、市民・議会・行政・医師会が一体となつての誘致に努力したい。

## 市長発言における重要性とその認識について

問 市長は各種会合に出席し、長期的な展望に立つての山内政治のビジョンを話すことは結構であるが、現在推進している重要な諸政策について説明をする場合は、その内容について慎重を期す必要があると思う。

あまり現実的に話すことによって諸政策の遂行に若干の支障を及ぼすこともあると思われる。市長の気持ちを伺いたい。

答 発言は慎重でなければならないが、会場の雰囲気等によって自分の性格が露骨に出るような場面もあったかと思うし、また、市民に夢を与えるという気持ちから意識的に発言した場合もあった。

以後は十分注意しながら対応したい。

## 新年度予算編成方針について

問 市長の説明によれば「新有終会館構想は七、八年分の事業を先取りするんだ」ということであるが、これに充てようとしていた予算をどのような重点政策に当てるのか。

答 当市の財政規模から考えると年間3億円程度とみた場合、多田氏からの寄付金20億円は七、八年分に当たるということである。

63年度の予算編成については、ハードの中に新しくソフトを結合させ、一体化を図りながら教育と福祉・医療・環境衛生・文化・老人対策・観光など、行政全般にわたってきめ細かい配慮をしながら編成したい。

特に、奥越観光リゾートの推進、大高の移転、市街地整備基本計画の策定、新有終会館の建設、上・下水道、終末処理場等の方向づけ、産業の育成、特産品づくり、農協合併、国道157・158号線の早期改良、奥越総合公園、全国市町村水環境シンポジウムの開催などを重点施策として取り組みたい。

## (仮称)新有終会館について

問 先日、多田氏からの寄付金による新有終会館(仮称)構想が発表されたが、その中に



現在有終東小学校で行われている言語治療教室を移転するようになっている。

会館は学校とは性格が違って、いろいろな人々が入り出すことになるが、治療に通う子供や親の立場から考えて問題はないのか。

答 現在の施設は、53年有終東小開校と同時に就学児を対象として特殊学級が併設され、翌54年10月から、その一部を利用して就学前の言語障害児も対象とした治療室を設けたものである。

当初は10人定員であったものを現在は20人に増員しているが、なおかつ10人近くがいつも待機している現状である。

早期発見・早期治療の立場から福祉関係機関も併合される新有終会館に、要望にこたえてさらに定員を増やして、内容の充実した就学前幼児用の言葉の治療教室を設置したい。



言葉の治療教室で指導を受ける幼児



開校20周年、学科の見直しが求められている大野工業高校

## 大野高校の移転と大野工業高校の学科見直しについて

問 大高の移転については以前から度々論議されているが、今が一番大切な時期だと思う。勝山精華高校の移転問題もからんでいるので、1日も早く決定すべきであると思うが、どうか。

また、工業高校も地域社会の人々が望んでいる学科等も変わってきているので、要望に応じた学科を新設して教育内容を充実するとともに、女性にも魅力を感じさせる学校名に変更する必要もあるのではないか。

答 大高の移転については、できれば63年度中に用地取得と敷地造成、64年度から65年度にかけて校舎を建設し、66年度には開校というスケジュールで県へお願いするよう精力的に取り組みたい。移転先については2候補地があるが、年が明けてから地元の協力の度合等を調査するなど、積極的に取り組みたい。

大野工業高校は開校以来20周年になるが学科は変わっていない。

現代のニーズに応じ得るような職業系を中心にした学科の再編や新設、女子入学定員増を考えるこ

とは大切であると思っている。

## 全寮制私立学校の誘致と学園都市へのイメージづくりについて

問 当市を取り巻く情勢は、基幹産業の構造的な不況や円高の影響のため大変厳しい。

このため、恵まれた自然環境を生かして全寮制の私立高校を誘致し、学園都市の実現に向けて取り組んではどうか。

経済的波及効果や当市の宣伝効果が大きいと思うが。

答 当市は今も歴史的な面影をとどめている上、豊かな地下水と雄大な自然環境を有し、人材育成と勉学の地としては最適と思う。

教育関係者をはじめ、有識者の中にも全国レベルの私立大学の付属高等学校等の誘致を提言されている方もある。

市の人口増加にも関連し、産業面への活性化にもつながりよいことであるが、具体的な規模・運営面のことや、地元公立高等学校への影響等が考えられるので当分その推移を見て慎重に取り組みたい。



### こぶし通りの交通安全対策について

問 昨年5月21日に一部の区間を残してこぶし通りが開通し大変便利になったが、開通後間もなく有終南小学校の児童が交通事故に遭った。以来、学校とPTAが当番制で交通安全指導に努めている。春日通りとの交差点には押しボタン式の信号機設置が必要と思うが、どうか。

さらに、この通りは時速50キロメートル規制になっているが、車・歩行者ともに通行量が多く大変危険なので、公安委員会に働き掛けて40キロメートルにできないのか。

答 こぶし通りの交通量は最近特に増えている。先般、公安委員会と県警本部に実態調査をお願いした結果、歩行者用信号機が必要であるということで、現在設置を検討中である。速やかに設置できるよう要請したい。

制限速度については公安委員会警察関係者が調査した結果、道路の幅員、交通量、歩道の設置等、道路の形態からみて、歩行者の安全は確保されるということで50キロメートル規制になった。

この件については警察も絶えず調査しているので、再検討を要請したい。

### 総合体育館の早期実現について

問 総合体育館の建設は横滑りの状態で遅れているが、若者たちには今すぐに欲しい施設である。

市は速やかにこのニーズに応じなければならないと思うが、今後の総合体育館建設計画を聞きたい。

答 建設用地については、地域関係者からの要望もあって、南部第二土地区画整理事業区域内に確保してある。



押しボタン式の信号機が設置された春日通りとの交差点(こぶし通り)

しかし、この程県営の奥越総合公園が上篠座地係(競馬場跡周辺)に内定したので、市としても総合体育館はできるだけこの公園に隣接させ、一体的な活用を図って効果的なものにしたい。県の総合公園基本計画策定の経緯を踏まえながら、建設場所については十分検討したい。来年の1年間検討する時間がほしい。

また「新有終会館」建設構想の中にも多目的体育館も含めて計画している。

### 特殊(養護)学級生徒の就職指導について

問 不幸にして知恵遅れや病気等によって、一般の子供たちと同じように教育を受けられない子供たちが、義務教育を終えたり養護学校を卒業しても働く場が極めて少ない。保護者は担任の先生に相談したりして共に尽力しているが大変にむずかしい。

大きな問題であるが市として手だてはないのか。

答 以前は学校の紹介や保護者の縁故者・知人等を訪ねたりして、一応全員が就職できたが、最近は非常に狭くなってきた。

最近3年間の就職状況を見ると

あすなろ授産所、紡績工場、パン工場、飲食店等になっており、県立高等職業訓練校や嶺北養護の高等部へ進学している例もある。今後は雇用主の深い理解のもと、就職について協力が得られるよう努力したい。

### 議会の意志について

問 一般質問や議案・請願・陳情等の審議を通じ、議会側から理事者側に対しいろいろと改善のための意見が出されているが、これらがどのように予算に盛り込まれているのか、理事者の考え方を伺いたい。

答 議員各位は住民の代表者であるので決して軽率に考えず、指摘されたことは十分聴いているつもりである。

委員会で論議された内容も各課長から詳しく報告するように指示しているし、処理結果についても委員会で報告するように指導している。

議会と理事者の相互関係を積極的に推進し、できるものは速やかに処理するように心掛けている。

今後も議会の意見を聴きながら責任をもって対応したい。

### 教育委員会と市長部局との連絡調整について

問 この度県奥越総合公園が上篠座の競馬場跡地に内定したが、この地は過去何年間も総合運動施設の用地として教育委員会で計画し、用地交渉を進めたが非常に難航したため断念したところである。



市長部局に移って果たしてうまくいくのか。

現在、市街地整備基本計画を策定中であり、亀山周辺は歴史・文化・史跡のゾーンに設定されている。この地域にある有終西小の亀甲積み石垣が取り壊されたが、連絡調整に問題があったのではないかと。復元すべきものと思うが、どうか。

答 第1次基本計画で旧競馬場周辺の約18ヘクタールを体育館・総合運動公園等を設置する計画を立てて、用地買収を打診したことがある。

その後、南部第二土地区画整理区域内に体育館建設の話が持ち上がった。

用地買収が簡単であるということではないが、地権者の理解を得ながら是非とも交渉を進めたい。

有終西小の石垣の取り壊しについては、学校側から倒壊の恐れがあるので、フェンスを設置してほしいとの要望があったので、多少の問題はあったが学校の環境や危険防止から、やむを得ない措置であった。

石垣の復元については考えていないが、今後こうしたことのないように十分配慮したい。



亀甲積み石垣が取り壊されフェンスが張られた有西小

### 国民健康保険制度について

問 国は国民健康保険制度の危機を逆手に取って、国庫負担金の一層の削減と住民・労働者・自治体への負担の転嫁、低所得者切り捨て、長期患者の病院からの追い出しなど、国保改革案を示している。一方、住民の医療を守る立場から住民の負担を少しでも軽くするために、医療関係者と全力を挙げている自治体もある。

当市は一方向的に国の指示に従うのか。

答 現在、国では国保問題審議会でいろいろ検討しているが、まだ国会の審議に付されていない。

内容は福祉医療制度の創設、医療費の地域差調整、長期入院者の行政指導—などである。

どういう方向に進むのか注意深く見守り、一応国の方針には従わざるを得ない状況である。しかし当市も加入している自治6団体では、これに賛成できないという反対の意志表示をしている。

### 工業用地が必要な理由とその相乗作用について

### 大野勝山地区広域行政事務組合議会議員補欠選挙

当選 藤田 護議員

問 企業誘致で一番の問題点は用地の確保だと思う。



当市は地価が割り高の上、土地が求めにくいですが、幸いにも土布子から青島(通称)の土地提供の話もあると聞く。

これから誘致する工場は現状のようにバラバラに位置づけるのではなく、青島方面を工業・産業ゾーンとしてはどうか。

そうすれば、不満を抱きながら働いている若者に夢とロマンを与えられると思う。

答 現在当市の用途地域内には工業専用地域はなく、4地域が工業地域や工業適地に指定されている現状であるが、それぞれに問題を抱えている。企業進出には農業振興地域内の優良農地は転用が極めて困難である。

このため、将来の工業導入の在り方と適地の選定を行うために今回、工業開発調査を実施することとなった。

この調査結果を十分検討して63年度で取り組みたい。

## 農協合併について

問 大野市・上庄両農協の合併目標日は4月1日から7月1日に遅れると新聞報道されたが、見通しについて尋ねたい。

答 合併促進協議会で合併のスケジュールと基本構想の協議を進め、両農協の職員から成る専門部会で事業計画・合併経営計画の策定作業を進めてきた。農繁期で一時中断したため作業が遅れ、合併目標日は7月1日まで延期された。年内に合併経営計画の策定、来年1月末に合併予備契約の締結の運びとなるが、上庄農家組合長会議では「時期尚早である」とか「時間をかけて十分な検討を」という意見が多かったと聞いているし、上庄農協職員からは「今後専門部会に出席できない」との申し入れもあった。

私も仲人役として精力的に対応してきたが、今後は議会の強力なバックアップを願いたい。

## 役所の経費について

問 歳入財源の多くは地域住民や国民の税金でまかなわれているが、役所の経費にこれ以上節約の余地はないのか。

答 最小の経費で最大の効果を上げることは行政を執行する上の基本である。特に近年、行政の効率化・減量化が強く求められており、当市も60年11月、行政改革大綱を定めて努力している。

職員数も類似団体よりかなり低率であり、補助金についても整備・合理化が進んでいる。

まだ節減に対する工夫や余地があると思われるので、身近なところから改めて見直しを行い、財政運営の効率化を図りたい。

## 請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願12号	総合病院の早期実現について	市区長連合会長 小原藤雄 外26名	採 択
請願13号	民間保育行政について	大野市民間保育園連合会 代表 伊藤 栄 外26名	採 択
請願14号	小山公民館拡張工事並びに公民館周辺環境整備について	小山地区区長会長 永田正元 外8名	採 択
請願15号	蕨生小学校新校舎建設について	蕨生小学校校舎建設促進協議会会長 埴山甚治 外5名	継続審査
請願16号	区内道の市道認定について	深井区 畑中幸雄 外19名	採 択
請願17号	組合に対する補助及び廃棄物の処分等について	奥越魚残組合大野支部 代表者 千味秀男	採 択
請願18号	市営ゲートボール場の整備について	大野市ゲートボール協会会長 永野浅栄 外495名	採 択
陳情22号	市道の一部改良について	巢原生産森林組合長 山崎 武 外4理事	継続審査
陳情23号	市道の拡幅改良について	社会福祉法人大野福祉会 理事長 浅山 透 外5名	採 択
陳情24号	福祉施設の増築整備事業に対する応分の助成について	社会福祉法人恩賜財団 福井県済生会長 栗田幸雄	採 択
陳情25号	母子家庭に対する修学費等の支給について	福井県母子寡婦福祉連合会 会長 西尾キヌイ 外1名	採 択
陳情26号	防火水槽の設置について	城町2区区長 松田元弥	採 択
陳情27号	バックネットの設置について	阪谷地区体育協会会長 田原哲也 外1名	採 択
陳情28号	蕨生小学校の校舎改築について	蕨生小学校校舎現在地建設 同志会 代表 松田 広 外60名	継続審査
請願10号	三ヶ用水路改修について	三ヶ用水請願者地区 中荒井1丁目区長 室谷義夫 外2名	採 択
陳情6号	旧国鉄大野自動車営業所跡地について	水落一区区長 金森仁之助 外1名	採 択
陳情10号	公共施設誘致について	土布子区長 松本一男 外31名	採 択
陳情13号	側溝の改修とアスファルトの削除について	明倫町三区区長 中村治助 外23名	継続審査
陳情16号	工事の会員優先発注について	(社)大野建設業会 会長 兼井藤波	継続審査
陳情20号	総合病院の建設と教育・福祉・文化センターの建設について	大野市区長連合会会長 小原藤雄 外26名	継続審査

# 委員会報告

委員長報告から

## ●産業経済委員会

### ・農協合併について

農業振興費の中に「ふるさと特産づくり整備事業」として、市農協と上庄農協の両農協へそれぞれ里芋関連機械の補助が計上されているが、このような不合理をなくするために、1日も早く両農協が合併するよう強力な行政指導を行うべきとの意見が全員から述べられた。

## ●教育民生委員会

### ・地方バス路線運行費補助事業について

今回、木本線、上富嶋～六呂師線、稲郷～堀兼線の3路線にかかる地方バス路線運行費補助が計上されているが、これは乗客数の減



観光バス等の駐車場に予定されている亀山公園西側

少によって、第2種路線から第3種路線に格下げとなっているためである。

この第3種路線として3年を経過すると国庫補助対象外となって、廃線か代替バスの運行をしなければならぬことになる。

利用者の極端な減少は財政の効率的運用面からは問題があるが、利用している弱者の負担にならない方策を講じながら、見直すべきであるとの意見が述べられた。

## ●総務委員会

### ・市営ゲートボール場の整備について

現在の市営ゲートボール場3面のうち1面が観光バス等の駐車場に予定されているため、隣接地近くに県の大会でも開催可能な6面を備えたゲートボール場を設けてほしいという請願に対し、市では市営住宅亀山北団地の市有地と民有地一帯をあてる計画であるが、県営総合公園構想との整合性や亀山周辺整備計画との関連性を十分考慮するようとの意見が述べられた。

## 高田議員の死を悼む



故 高田新左衛門議員

高田新左衛門議員(69歳)は熱傷のため、県立病院で入院加療中でありましたが、昨年11月18日午前8時10分逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

高田議員は、昭和26年4月上庄村議会議員に初当選され、以来今日まで市議会議員として27年余の長きにわたって大野市勢発展のために貢献されました。

その間、各常任委員長や副議

長、議長などの要職を歴任。卓越した識見と熱誠をもって観光資源の開発、内水面漁業の振興などに尽力されるとともに、家庭裁判所調停委員を務められ、その急逝は各方面から惜しまれております。

この程、従五位勲四等瑞宝章に叙せられましたが、輝かしいご功績に対し深く感謝の誠をささげ、ごめい福をお祈りします。

## 決算特別委員会

委員長 雨塚忠夫  
副委員長 松井治男  
委員 林 順一 田原哲也  
幅口 登 西川文人

## 永年勤続表彰

○北信越市議会議長会  
(35年以上在職)  
山本 武議員